

■■ INDEX ■■

1) 首都圏マンション市場動向

- 1. 2019年6月の新築マンション市場(首都圏) P.1
- 2. 2019年6月の中古マンション市場(首都圏) P.2

2) マーケットビュー

- 1. 2019年8月の主な供給スタート物件一覧 P.3~4

3) データファイル

- 1. 各社の動き P.5~P.7
- 2. 新築マンション市場データ(エリア別) P.8~P.12
- 3. 中古マンション市場データ(エリア別) P.13~P.18
- 4. 新築住宅着工データ(首都圏) P.19~P.20
- 5. 首都圏分譲マンション市場の流れ P.21

■■ 2019年7月のダイジェスト ■■

テーマレポート①) 2019年下半年: 首都圏新築マンション市場の見通し

2019年下半年の供給戸数予測は約20,500~21,000戸(対上半期+15~17%)。下半年については、世界情勢や消費税増税の動向によるマーケットへの影響が懸念されるものの、物件の告知状況や事業主様各社のヒアリングなどをみると、概ね当初予定通りの供給状況になる見通し。
本レポートでは、そうした下半年マーケットの見通しについて、下記項目を分析・まとめた。

【調査項目】

- ・下半期の市場背景
- ・新規スタート物件の販売告知状況
- ・販売のペース感
- ・エリア別供給戸数予測及び行政区別動向
- ・各社の見通し: 事業主様アンケートより
- ・下半期の価格動向
- ・下半期 首都圏供給戸数予測
- 等

テーマレポート②) 2019年下半年のお客様動向を考える

~ 迫る消費税増税・米中貿易摩擦・老後2,000万円不足問題の影響は? ~

2019年7月のお客様意識調査では、3か月後に迫る“消費税増税の影響”、“貿易摩擦の影響”“オリンピック後の景気や消費の落ち込み”、直前の“老後2,000万円不足問題”等を懸念する声が聞かれ、景況感が大幅に低下。
本レポートでは、今回大幅な低下がみられた「景気」の判断基準や、『消費税増税前後の購買行動』・『老後2,000万円不足問題』の影響などを、属性別に分析。
2019年下半年のお客様動向について考えた。

【TOPICS】

- ・景気の捉え方・判断基準
- ・消費税増税前後の購買行動
- ・2019年夏の賞与の状況
- ・最近の話題と自身の生活への影響度